

# 長期健康影響 (WHO ガイドラインより)

## PM2.5、二酸化硫黄、オゾンなどを含む大気汚染物質の健康影響

- ・心血管系、呼吸器疾患による死亡
- ・慢性呼吸器疾患の発症および罹患  
(喘息、慢性閉塞性肺疾患等)
- ・慢性的な生理機能変化
- ・肺がん
- ・慢性心血管疾患
- ・子宮内発育の制限(低体重児出産、子宮内発育遅延等)

出典: WHO: Air Quality Guideline Global Update 2005, WHO, Geneva, 2006.

週刊 医学のあゆみ 247(8); 662-666. 2013

\* 日本のコホート研究では、PM<sub>2.5</sub> が10 µg/m<sup>3</sup>上昇すると呼  
吸器疾患による死亡は16%、肺がん死亡は24%上昇している。

出典: Katanoda K., et al. J Epidemiol 21; 132-143, 2011